

## 29 和歌山県 和歌山県音楽教育連盟

### 《研究の主題および重点》

研究主題 「つなぐ音楽つながる心」

研究の重点

「主体的な学び」 → 自分の学びを自分でコントロールすること  
自らの課題活動を振り返り、次に「つなぐ」こと  
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く  
取り組み、自己の学習活動を振り返って次につながる学び

例：校内音楽会で木琴を担当し、当初は細かなパッセージの演奏が困難であったが、マレットの持つ位置や手首の動かし方等の助言から練習方法を改善し、「正しい奏法や適切な力加減が大切である」と学習したことが、今後の学習場面でも活かされている。

「対話的な学び」 → 異なる多様な他者と「つなぐ」こと  
子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方（書籍）を手掛かりに考えること等を通じ、  
自己の考えを広げ深める学び

例：歌唱の表現方法についてグループで話し合う、伝統音楽の奏法について外部講師から助言や指導を受ける、鑑賞の理解を深めるために資料などで調べる等の活動を通じて、自己の考えを広げ深めている。

「深い学び」 → 知識や技能を相互に「つなぐ」こと  
習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、  
知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決  
策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び

例：鑑賞の学習活動において、様々な楽器が用いられていることや、音色や速度の対比があることに気付くだけでなく、これらが相互に関わっていることにより曲想の面白さを醸し出していることを理解する。